科目名	ビジネスマナーⅠ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年 前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、冠婚葬祭マナーの基礎を指導します。 ・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーと心遣いを習得すべく指導していきます。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、配布プリント				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・心構え・身だしなみを身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
・言葉については正しい日本語・敬語・ビジネス独特の言葉遣いを指導し、若者言葉を正します。
・社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第１章 社会人としての心構え１（接遇の基本理念）		Ｐ７～９、プリント
3～4	第１章 社会人としての心構え１（ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ・CS思考）	自己紹介文作成	Ｐ１０～１２、プリント
5～6	第１章 社会人としての心構え２（報告・連絡・相談），３	自己紹介文発表	Ｐ１３～１６、プリント
7～8	第２章 基本動作 １，２，３，４，５	宿題	Ｐ１７～２２、プリント
9～10	第３章 言葉遣いの基本 １（接客８大用語）	宿題（ｸｯｼｮﾝ言葉）	Ｐ２４、２５、プリント
11～12	第３章 言葉遣いの基本 １（クッション言葉）	宿題（ｸｯｼｮﾝ言葉）	Ｐ２６、２７、プリント
13～14	第３章 言葉遣いの基本 ２（敬語）	宿題（敬語）	Ｐ２８～２９、プリント
15～16	第３章 言葉遣いの基本 ２（敬語）	宿題（敬語）	Ｐ３０、プリント
17～18	第３章 言葉遣いの基本 ３（敬語・若者言葉）	宿題（敬語）	プリント
19～20	第３章 言葉遣いの基本 ３（敬語・若者言葉）	宿題（敬語）	プリント
21～22	資料編４ 冠婚葬祭（冠のしきたり）	宿題	Ｐ９７、プリント
23～24	資料編４ 冠婚葬祭（婚のしきたり）	祝儀袋、宿題	Ｐ９８、プリント
25～26	資料編４ 冠婚葬祭（葬のしきたり）	不祝儀袋、宿題	Ｐ９９、プリント
27～28	資料編４ 冠婚葬祭（祭のしきたり）	宿題	Ｐ１００、プリント
29～30	前期試験実施		

成績評価方法

1 期末試験（筆記）
2 小テスト
3 提出物
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート	○						20	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数

担当教員	池田美和子	実務経験紹介	https://urbangrace.jp/

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。
社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第４章 来客応対 １，２		
3～4	第４章 来客応対 ロールプレイング１		
5～6	第４章 来客応対 ４，ロールプレイング２		
7～8	第４章 来客応対 ５，ケーススタディ１		
9～10	第４章 来客応対 ６		
11～12	第４章 来客応対 ７，９，１０		
13～14	第４章 来客応対 ８，ケーススタディ２		
15～16	第６章 訪問のマナー１，ロールプレイング６		
17～18	第６章 訪問のマナー２		
19～20	第６章 訪問のマナー　ロールプレイング７、名刺		
21～22	第６章 訪問のマナー３，資料編３		
23～24	資料編４、５		
25～26	ビジネス文書		
27～28	個人情報保護法		
29～30	後期試験実施		

成績評価方法

1　期末試験（筆記）と出席率
2　小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	https://urbanemi.com/

科目名	電話応対Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	１年　前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・社会人として必要な電話応対の基礎の習得を指導します。 ・社会で即戦力となる電話応対の基礎を、模擬応対機を使用して実践を交えて指導します。 ・電話応対に不可欠な発声練習を行い、好印象を与える声づくりを行います。				
授業の一般目標	・社会人として必要な電話応対の基礎の習得を目指します。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、配布プリント				

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的な電話応対を習得する
☑ 思考・判断の観点	社会人として必要な電話応対の言葉遣いや作法を習得する
☑ 関心・意欲の観点	電話応対に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい電話応対の言葉遣い・心遣いや態度を身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・心遣い・態度等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

・教本を軸として、電話応対の基礎となる敬語や言葉遣い、ビジネス用語をまず指導します。
・並行して電話応対に不可欠な発声練習を行い、好印象を与える声づくりを行います。
・電話応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。
・社会人として即戦力となる電話応対を習得すべく指導していきます。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第５章 電話応対 １，２	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ５７～６１、プリント
3～4	資料編１発声練習、２滑舌の練習	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ９２～９４、プリント
5～6	第５章 電話応対 ２	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ６２～６３、プリント
7～8	第５章 ロールプレイング３、模擬応対練習	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ６４、プリント
9～10	第５章 電話応対 ３，４（伝言メモP73）	宿題	Ｐ６５～６６、プリント
11～12	第５章 電話応対 ３，４（ｸﾚｰﾑ電話等）	宿題	Ｐ６７～６８、プリント
13～14	第５章 電話応対 ロールプレイング４	宿題	Ｐ６９、プリント
15～16	第５章 電話応対 ロールプレイング４	宿題	Ｐ６９、プリント
17～18	第５章 電話応対 ５，ロールプレイング５	宿題	Ｐ７０～７２、プリント
19～20	第５章 電話応対 ５，ロールプレイング５	宿題	Ｐ７３、プリント
21～22	第５章 電話応対 ４（苦情電話）	宿題	Ｐ６７、プリント
23～24	第５章 電話応対 ４（道案内）	宿題	Ｐ６７、プリント
25～26	第５章 電話応対 ６，(携帯電話・ＦＡＸ)	宿題	Ｐ７４～７５、プリント
27～28	第５章 電話応対 ６，(Ｅメール)	宿題	Ｐ７６、プリント
29～30	前期試験実施		

成績評価方法

1. 電話応対実技
2. 小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	池田美和子	実務経験紹介	https://urbangrace.jp/

科目名	電話応対Ⅱ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人1年目での必要なビジネススキルとして、電話で顧客対応となる。電話応対コンテストに向けて取り組むことで、応対でのマナーを取得する。				
授業の一般目標	電話応対コンテスト入賞				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	受験に足りる知識を身につける
☑ 思考・判断の観点	電話の相手の求めに応じて応対できるための思考があるか。
☑ 関心・意欲の観点	仕事に使える電和応対技能の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか。
☑ 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示しているか。
☑ 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができているか。

授業計画（全体）

もしもし検定３級の筆記試験出題内容に準じてプリント資料、過去問題集を中心に学習させる。電話応対の実技試験対策として、過去の問題に取り組み電話応対に慣れ、求めに応じられるよう言葉づかいの幅を広げ、音声表現を向上させる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	日本語おさらい・敬語の種類と使い分け		
3～4	電話応対おさらい・電話応対の基本・かけ方、受け方		
5～6	もしもし検定３級実技試験過去問題		
7～8	もしもし検定３級実技試験過去問題		
9～10	もしもし検定３級実技試験過去問題		
11～12	仕事の基本マナー・来客と訪問・名刺交換・紹介・席次		
13～14	確認テスト【１】		
15～16	確認テスト解説		
17～18	もしもし検定３級実技試験過去問題		
19～20	もしもし検定３級実技試験過去問題		
21～22	もしもし検定３級実技試験過去問題		
23～24	マナーおさらい・ビジネス文書、FAX、メールの基本		
25～26	マナーおさらい・冠婚葬祭・贈答と進物		
27～28	確認テスト【２】		
29～30	もしもし検定３級受験		

成績評価方法

1. 電話応対実技
2. 小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	https://urbanemi.com/

科目名	PBL Ⅰ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。				
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業／団体の状況について正しく理解できたか
☑ 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか
☑ 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか
☑ 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか
☑ 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業／団体の課題を解決できたか

授業計画（全体）

アイデアの出し方、発表の仕方についてワークを通じて学習します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	オリエンテーション・事前学習		
3～4	企業紹介・協業企業の選定・着想①		
5～6	各企業との個別相談会①・着想②		
7～8	着想③		
9～10	企業訪問・着想③		
11～12	発案①		
13～14	各企業との個別相談会・発案②		
15～16	発案③		
17～18	各企業との個別相談会②・プロトタイピング・テスト①		
19～20	プロトタイピング・テスト②		
21～22	各企業との個別相談会③・プロトタイピング・テスト④		
23～24	プロトタイピング・テスト⑤		
25～26	各企業との個別相談会④・プロトタイピング・テスト⑦		
27～29	プロトタイピング・テスト⑧		
30～33	前期末最終成果発表		
34～37	オリエンテーション・PBL①事前学習		
38～42	PBL①着想		
43～46	PBL②着想		
47～49	PBL③発案		
50～55	PBL④プロトタイピング・テスト		
55～60	後期末最終成果発表		

1 授業内で下記観点から評価を行う。
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	◎	○		50	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○	◎	◎	○		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数

担当教員	吉田　昌乗	実務経験紹介	https://www.tansan.co/

科目名	PBLⅡ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。				
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業／団体の状況について正しく理解できたか
☑ 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか
☑ 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか
☑ 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか
☑ 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業／団体の課題を解決できたか

授業計画（全体）

・企業と連携し、自分たちアイデアを形にしていきます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	オリエンテーション・事前学習		
3～4	企業紹介・協業企業の選定・着想①		
5～6	各企業との個別相談会①・着想②		
7～8	着想③		
9～10	企業訪問・着想③		
11～12	発案①		
13～14	各企業との個別相談会・発案②		
15～16	発案③		
17～18	各企業との個別相談会②・プロトタイピング・テスト①		
19～20	プロトタイピング・テスト②		
21～22	各企業との個別相談会③・プロトタイピング・テスト④		
23～24	プロトタイピング・テスト⑤		
25～26	各企業との個別相談会④・プロトタイピング・テスト⑦		
27～29	プロトタイピング・テスト⑧		
30～33	前期末最終成果発表		
34～37	オリエンテーション・PBL①事前学習		
38～42	PBL①着想		
43～46	PBL②着想		
47～49	PBL③発案		
50～55	PBL④プロトタイピング・テスト		
55～60	後期末最終成果発表		

1 授業内で下記観点から評価を行う。
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	◎	○		50	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○	◎	◎	○		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数

担当教員	吉田　昌乗	実務経験紹介	https://www.tansan.co/

科目名	パソコンスキルⅠ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Ｅｘｃｅｌを利用した関数やグラフの作成ができる能力を養う。				
授業の一般目標	1．マニュアルを見なくてもデータの入力、作成ができる。 2．Ｅｘｃｅｌの機能のうち、計算式や関数及びグラフを利用した表計算シートの作成ができる。 3．サーティファイ主催Ｅｘｃｅｌ表計算技能認定試験２級合格				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	Ｅｘｃｅｌ表計算技能認定試験　３級問題集（サーティファイ） Ｅｘｃｅｌ表計算技能認定試験　１・２級問題集（サーティファイ）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	Ｅｘｃｅｌを用いて、表計算シートを作成することができる
☑ 思考・判断の観点	Ｅｘｃｅｌの機能を活用し、関数やグラフを利用した表計算シートが作成できる
☐ 関心・意欲の観点	
☑ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む
☐ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

・サーティファイ主催Ｅｘｃｅｌ表計算技能認定試験２級合格

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	コンピュータを使用する際の基礎知識		
3～4	文字入力、フォントの編集機能		
5～6	文字入力、フォントなど編集機能		
7～8	グラフ		
9～10	データベース機能		
11～12	問題集の課題を各自練習		
13～14	問題集の課題を各自練習		
15～16	問題集の課題を各自練習		
17～18	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
19～20	問題集の課題を各自練習		
21～22	問題集の課題を各自練習		
23～24	問題集の課題を各自練習		
25～26	問題集の課題を各自練習		
27～28	問題集の課題を各自練習		
29～30	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
31～32	問題集の課題を各自練習		
33～34	サーティファイ表計算技能認定試験　３級		
35～36	文字列関数		
37～38	条件付き関数		
39～40	データベース関数		
41～42	問題集の課題を各自練習		
43～44	問題集の課題を各自練習		
45～46	問題集の課題を各自練習		
47～48	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
49～50	問題集の課題を各自練習		
51～52	問題集の課題を各自練習		
53～54	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
55～56	問題集の課題を各自練習		
57～58	サーティファイ表計算技能認定試験　２級		
59～60	期末試験		

成績評価方法

1　小テスト、定期試験（検定試験）
2
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上

授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員		上原　佑真		実務経験紹介				

科目名	パソコンスキルⅡ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Excel・Wordを利用した文書の作成ができる能力を養う。				
授業の一般目標	1．マニュアルを見なくても入力、作成ができる。 2．関数、複雑なグラフなどExcelの応用した機能を活用した表計算シートの作成、Wordを応用した複数ページの文書の作成ができる。 3．サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験２級、Word文書処理技能認定試験２級合格				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	Ｅｘｃｅｌ表計算技能認定試験　２級問題集（サーティファイ） Word文書処理技能認定試験　１・２級問題集（サーティファイ）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　ピボットテーブルや関数を応用した表計算シート、スタイルの定義などを活用した文書を作成することができる

☐ 思考・判断の観点

☐ 関心・意欲の観点

☑ 態度の観点　演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む

☑ 技能・表現の観点　Excel・Wordの機能を応用し、関数や複雑なグラフを利用した表計算シート、複数ページの文書が作成できる

授業計画（全体）

・サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験２級、Word文書処理技能認定試験２級合格を目指します。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	サーティファイ検定についての説明・模擬問題		
3～4	サーティファイ検定についての説明・模擬問題		
5～6	問題集の課題を各自練習		
7～8	問題集の課題を各自練習		
9～10	問題集の課題を各自練習		
11～12	問題集の課題を各自練習		
13～14	問題集の課題を各自練習		
15～16	問題集の課題を各自練習		
17～18	問題集の課題を各自練習		
19～20	問題集の課題を各自練習		
21～22	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
23～24	問題集の課題を各自練習		
25～26	問題集の課題を各自練習		
27～28	問題集の課題を各自練習		
29～30	問題集の課題を各自練習		
31～32	問題集の課題を各自練習		
33～34	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
35～36	問題集の課題を各自練習		
37～38	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
39～40	問題集の課題を各自練習		
41～42	サーティファイ表計算技能認定試験　２級		
43～44	サーティファイ表計算技能認定試験　２級		
45～46	問題集の課題を各自練習		
47～48	問題集の課題を各自練習		
49～50	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
51～52	問題集の課題を各自練習		
53～54	問題集の課題を各自練習		
55～56	問題集の課題を各自練習		
57～58	サーティファイ文書処理技能認定試験　２級模擬問題		
59～60	サーティファイ文書処理技能認定試験　２級		

成績評価方法

1　小テスト、定期試験（検定試験）

2

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上

授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員		上原　佑真		実務経験紹介				

科目名	色彩概論Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。				
授業の一般目標					
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことが出来る。
☑ 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。
☑ 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。
☐ 態度の観点	
☐ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。　日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	色の三属性　カラーカード分け		
5～8	色の三属性		
9～12	PCCS		
13～16	PCCS、色相環		
17～20	PCCSトーン		
21～24	色彩心理、グループワーク		
25～28	色彩心理、商品パッケージ分析		
29～32	光と色　眼の構造		
33～36	光と色　照明		
37～40	混色ワーク　混色例		
41～44	対比、同化		
45～48	配色、配色ワーク、3色配色　作品作成		
59～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色　作品作成		
53～56	インテリア		
57～60	模擬試験		

成績評価方法

(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S（4）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：７０点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：６０点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	田村　絵里子	実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab

科目名	色彩概論Ⅱ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。				
授業の一般目標					
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことが出来る。
☑ 思考・判断の観点	配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。
☑ 関心・意欲の観点	色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。
☐ 態度の観点	
☐ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。　日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	色の三属性　カラーカード分け		
5～8	色の三属性		
9～12	PCCS		
13～16	PCCS、色相環		
17～20	PCCSトーン		
21～24	色彩心理、グループワーク		
25～28	色彩心理、商品パッケージ分析		
29～32	光と色　眼の構造		
33～36	光と色　照明		
37～40	混色ワーク　混色例		
41～44	対比、同化		
45～48	配色、配色ワーク、3色配色　作品作成		
59～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色　作品作成		
53～56	インテリア		
57～60	模擬試験		

成績評価方法

(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S（4）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：７０点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：６０点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	田村　絵里子	実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab

科目名	デジタル写真	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	Web制作上欠かせない写真データ加工の基礎（画像の移動、複製、消去、文字入力、）から色調補正、画像修正、切り抜き合成までを習得し、視覚効果にすぐれた魅力的なイメージ画像の制作までをPhotoshopを使って、演習を中心に行う。				
授業の一般目標	Photoshopの操作方を習得、デザイン性に優れた画像づくりを目指す。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	Photoshop操作とデザインの教科書				

☑ 知識・理解の観点	Web制作において写真加工の必要性が理解できる。デジタル画像のしくみが理解できる
☑ 思考・判断の観点	基本的な知識と技術を活用し、適正な色彩判断が出来る
☑ 関心・意欲の観点	どうすれば広告的効果が出せる写真になるか関心をもち意欲的に作品に反映できる
☑ 態度の観点	意欲的に「テーマ・課題」制作を行う
☑ 技能・表現の観点	実習を通してPhotoshopの操作法を習得し、自分なりのイメージ膨らませ、思い通りの画像を制作できる

授業計画（全体）

・Photoshopの基本操作を学びます。
・画像を切り抜き、合成ポスターを作成します。

授業計画（授業単位）平常点20% 課題30% 実技試験50%

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
１～４	デジタル画像について		
５～８	描画ツールを使ってデジタル塗り絵を制作		
９～１２	レイヤーの基本操作		
１３～１６	画像の色調補正		
１７～２０	調整レイヤーについて		
２１～２４	色の設定・グラデーション設定		
２５～２８	様々な選択範囲　１　簡単な合成写真		
２９～３２	様々な選択範囲　２　複雑な合成写真		
３３～３６	レイヤーマスクについて		
３７～４０	レイヤーマスクを使った合成写真		
４１～４４	課題制作　gifアニメでバナー広告を制作-1		
４５～４８	課題制作　gifアニメでバナー広告を制作-2		
４９～５２	課題制作　トップページのヘッダーをデザイン-1		
５３～５６	課題制作　トップページのヘッダーをデザイン-2		
５７～６０	総合課題		

成績評価方法

1授業の理解度、取り組み姿勢
2課題の技能・表現力
3定期試験

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		10	秀、S（４）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（２）：７０点以上
授業態度				○			20	可、C（１）：６０点以上
発表・作品	○		○	○	◎		50	不可、E（０）：５９点未満
演習	◎	○		○	◎		20	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰ点数

担当教員	久保　俊介	実務経験紹介	

科目名	イラスト制作	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、Webデザインにおけるイラストやロゴ画像のを制作する点からIllustratorの使用について演習する。まず、Illustratorの基本機能につい操作ができるように基本的な事項について説明する。Illustratorクリエイター能力認定試験のスタンダードに合格を目指す。				
授業の一般目標	Illustratorの基本操作を使って、ロゴ作成、イラスト作成ができる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	世界一わかりやすいIllustrator　操作とデザインの教科書				

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	Illustratorの各機能について説明ができる。
☑ 思考・判断の観点	ロゴ作成、イラスト作成のために、制作プロセスを思考できる。
☑ 関心・意欲の観点	積極的に、自からイラスト起こしを行う。
□態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	イラスト作成のための曲線ポイントを滑らかに制作できる。 Ｗｅｂ用のロゴのデザインができる。

授業計画（全体）

・Illustratorの操作方法を習得する。
・ピクトグラムなどアイコン制作やチラシなどの作成ができる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
１～４	Illustratorの画面		初期設定、画面について
５～８	図形描画（四角形、円、多角形）		基本図形、線画について
９～１２	線描画（直線、曲線、画像トレース練習）		
１３～１６	オブジェクトの選択、変形		
１７～２０	アンカーポイントとハンドルの操作、練習問題		
２１～２４	オブジェクト編集（レイヤー操作、オブジェクト複製）		
２５～２８	オブジェクト合成、		
２９～３２	色の設定、グラデーションを使う		
３３～３６	線幅ツール、ブラシの適用、線の変形		
３７～４０	文字入力、文字編集		
４１～４４	特殊文字、段落スタイル		
４５～４８	3D効果、画像トレース、遠近グリッド		
４９～５２	表やグラフを描く		
５３～５６	病院のロゴマーク作成		
５７～６０	ｱﾋﾟｱﾗﾝｽでWebﾊﾟｰﾂ		

成績評価方法

1 授業内で小課題を行う。
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。
3 Illustratorクリエイター能力認定試験のスタンダードを定期試験として実施し合格も加味する。
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					30	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト			○	○	◎		30	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							**評価なし**	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度				◎			20	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品		◎			◎		20	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							**評価なし**	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰ点数

担当教員	久保　俊介	実務経験紹介	

科目名	Ｗｅｂ基礎	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	１年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、ＨＴＭＬタグ、ＣＳＳの属性指定を入力支援機能のないエディターで覚える。その後は制作効率を上げていくために、入力支援機能付きのエディタを使っていく。Web関係の資格としてＷｅｂクリエイター能力認定試験のスタンダード合格を目指す。				
授業の一般目標	HTMLタグ打ちによる文書構造の記述、ＣＳＳ適用にによるＨＰデザインの作成				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	初心者からちゃんとしたプロになる　Webデザイン基礎入門				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	HTMLタグ・CSS属性について説明できる。
☑ 思考・判断の観点	デザインページからのWebページ作成のブロック化できる。
☑ 関心・意欲の観点	デザインページの優れたページを参考に模範できる。
☐ 態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	総合的にバランスよくデザインできる。

授業計画（全体）

・HTMLの構造化について理解し、タグの種類の利用目的について学習する。
・CSSの属性設定が、基本的装飾ができるようになる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	メモ帳の設定、HTMLタグの基本		
3～4	見出しタグ、段落タグ、テーブルタグ、リストタグ		
5～6	ファイルパスについて		
7～8	画像ファイル配置		
9～10	CSSに係るセレクタ、プロパティとプロパティの値について		
11～12	Ｗｅｂフォント指定によるフォントデザイン		
13～14	HTML5で使用されるタグについて		
15～16	識別子とクラス指定による要素への名前つけ		
17～18	ＣＳＳの基本的記述方法		
19～20	ボックスモデルを使ったレイアウト		
21～22	ナビゲーション領域のレイアウト		
23～24	dissplay 属性でのボックス調整		
25～26	複数カラムのレイアウト作成		
27～28	back-ground属性の指定方法		
29～30	議事クラスを指定したアクション		
31～32	テキストの回り込みと回り込み解除		
33～34	疑似クラス　first-child、last-childを指定した余白調整		
35～36	テーブルのタイトルと見出し作成		
37～38	テーブルのグループ化とレイアウト調整		
39～40	写真挿入とfigure指定とレイアウトの調整		
41～42	フォームページの作成		
43～44	デザインレイアウトについて		
45～46	サンプル問題		
47～48	サンプル問題解説		
49～50	模擬問題１		
51～52	模擬問題１解説		
53～54	模擬問題２		
55～56	模擬問題２解説		
57～58	模擬問題３		
59～60	模擬問題３解説		

成績評価方法

1 授業内で小課題を行う。
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎			◎		80	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	○						20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	赤木　康二	実務経験紹介	

科目名	Ｗｅｂデザイン Ｉ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	１年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業ではレスポンシブのメディアクエリーの指定が適切に行える。VisualStudioCodeを使い効率よくコーディングを行う。 Web関係の資格としてＷｅｂクリエイター能力認定試験のエキスパート合格を目指す。				
授業の一般目標	レスポンシブ対応Ｗｅｂデザインの作成				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	初心者からちゃんとしたプロになる　HTML+CSS標準入門				

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	HTMLタグ・CSS属性について説明できる。
☑ 思考・判断の観点	デザインページからのWebページ作成のブロック化できる。
☑ 関心・意欲の観点	デザインページの優れたページを参考に模範できる。
☐ 態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	文字、レイアウト、色彩を総合的にバランスよくデザインできる。

授業計画（全体）

モバイルファーストでのレイアウトをコーディングできる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	縦スクロールのレイアウトデザイン		
5～8	シングルページのサイトを制作		
9～12	シングルページのサイトを制作		
13～16	FexBoxを使ったサイトを制作する		
17～20	FexBoxを使ったサイトを制作する		
21～24	GridCssを取り入れる		
25～28	GridCssを取り入れる		
29～32	レスポンシブ対応サイトを作る		
33～36	レスポンシブ対応サイトを作る		
37～40	レスポンシブ対応サイトを作る		
41～44	ポートフォリオサイト制作課題		
45～48	ポートフォリオサイト制作課題		
59～52	ポートフォリオサイト制作課題		
53～56	ポートフォリオサイト制作課題		
57～60	ポートフォリオサイト制作課題		

成績評価方法

1 期末テストを実施

2 Webサイト制作課題

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						50	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト							**評価なし**	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							**評価なし**	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							**評価なし**	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品		○	○		○		50	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							**評価なし**	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰ点数

担当教員	赤木康二	実務経験紹介	

科目名	テクノロジⅠ	単位数	4	科目コード	
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、情報処理に関する基礎理論、コンピュータの構成知識、ネットワーやそれにまつわるセキュリティの知識を学習していく。情報処理係の資格としてITパスポートの合格を目指す。				
授業の一般目標	ITパスポートに合格できる知識を身につける				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	2023年度版 ニュースペックテキスト ITパスポート				

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	ITパスポートに出題されるテクノロジ関連の情報処理用語について説明できる
☑ 思考・判断の観点	出題意図を理解したうえで計算問題を解答できる
☑ 関心・意欲の観点	過去問題を解き知らない用語を自ら調べることができる。
☐ 態度の観点	
☐ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

・ITパスポート合格を目指します。講義に加え、UDEMYのITパスポート講座を活用し、予習、復習ができる。
・ITパスポートテクノロジー分野を学習します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1	コンピュータの五大装置		
3	基礎理論		
5	中央処理装置		
7	主記憶装置、補助記憶装置		
9	インタフェース		
11	システム構成、クライアントサーバシステム		
13	マーケティングリサーチ、BPOについて		
15	マーケティングリサーチ、BPOについて		
17	フルバックアップ、差分バックアップ、増分バックアップ		
19	開発ツール、OSS（オープンソースソフトウェア）		
21	ヒューマンインタフェース、マルチメディア		
23	マルチメディアの応用		
25	データベース方式、データベース管理システム		
27	データベース設計、		
29	データ操作		
31	トランザクション処理		
33	データベース問題演習		
35	ネットワーク方式		
37	ネットワーク方式		
39	通信プロトコル		
41	IPアドレス、ルーティング		
43	インターネットの仕組み、		
45	インターネットサービス。通信サービス		
47	ネットワーク問題演習		
49	情報資産とセキュリティ		
51	脅威と脆弱性		
53	情報セキュリティ管理		
55	情報セキュリティ実装技術		
57	物理的セキュリティ対策		
60	セキュリティ問題演習		

成績評価方法

1 授業内で小テストを行う。
2 授業最終期末によって下記観点から評価を行う。
3 ITパスポートの合格も加味する。
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎					70	秀、S（4）：９０点以上
小テスト	◎	◎	○	○			30	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F

出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員		赤木　康二		実務経験紹介				

科目名	ビジネス実践Ⅰ	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	1年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ネット通販の需要の拡大とともに、eコマース（ECまたは電子商取引）市場が急成長し、幅広い業種でのECの活用が進んでいるが、数多くの企業でECの実務に携わることのできる人材の不足が指摘されている。本科目では、ネットショップ経営を熟知しているYahoo! JAPANの講師陣の講義を通じて、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得することを目標とする。				
授業の一般目標	(1)チームでのコミュニケーション方法の理解と実践できる。 (2)お客様、取り扱い企業とのコミュニケーションの理解と実践ができる (3)ネットショップの運営ができる				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	Yahoo!ショッピング 出店&運営 成功するコレだけ! 技（技術評論社）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点
1．ネットショップの運営について説明できる。
2．教育の各領域の概要と課題を説明できる。

☑ 思考・判断の観点
1．授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。

☑ 関心・意欲の観点
1．ネットショップに関する関心を広げ，問題意識を高めることができる。

☑ 態度の観点
1．日常生活の中でネットショップについて主体的に考えることができる。

☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

eコマースについて理解を深めた後、Yahoo!ショッピングへのネットショップの「開設」から「販売」・「集客」までの運営にあたり、必要な基礎的かつ実務的な知識を習得する。
同時に、学生ネットショップを実運営し、学んだ知識を生かして、体験する

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	eコマース入門		
5～8	Yahoo!ショッピングについて		
9～12	Yahoo!ショッピングのページとストアのページ		
13～16	Yahoo!ショッピングで自分のストアを作ってみよう		
17～20	ページのカスタマイズをしてみよう		
21～24	安心して購入いただくために		
25～28	お客様からの注文を受け付ける		
29～32	注文後のご要望への対応とストア分析		
33～36	注文後のご要望への対応とストア分析		
37～40	統計情報を使いこなす		
41～44	統計情報を使いこなす		
45～48	販促メールをお客様に送る		
49～52	販促メールをお客様に送る		
53～56	売上高アップの方法とアクセス権限管理		
57～60	売上高アップの方法とアクセス権限管理		
61～64	マーケティングとは？		
65～68	マーケティングとは？		
69～72	ウェブマーケティング概論		
73～76	ウェブマーケティング概論		
77～80	ウェブマーケティング実践		
81～84	ウェブマーケティング実践		
85～88	総括		
89～90	総括		

成績評価方法

(1)サイバー大学コンテンツを活用し授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。
(2)成果発表会にて、取り組んだ内容について、プレゼンし、審査を受ける
(3)以上を下記の観点・割合で評価する。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					10	秀、S（4）：９０点以上
小テスト	◎	○	◎				20	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良、B（2）：７０点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：６０点以上
発表・作品	◎		◎	◎			50	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F

出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員	河津　道正			実務経験紹介				

科目名	テクノロジⅡ	単位数	4	科目コード	
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、「ITパスポート試験 シラバス Ver.5.0」におけるストラテジ系・マネジメント系のジャンルである、経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般に関する知識と、プロジェクトマネジメントに関する知識を学習していく。 検定資格の資格としてITパスポートの合格を目指す。				
授業の一般目標	ITパスポートに合格できる知識を身につける				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	2023年度版 ニュースペックテキスト ITパスポート				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	ITパスポートに出題されるストラテジ・マネジメント関連の専門用語を6割以上説明できる
☑ 思考・判断の観点	出題意図を理解したうえで計算問題を解答できる
☑ 関心・意欲の観点	過去問題を解き、知らない用語を自ら調べることができる。
☐ 態度の観点	
☐ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

・ITパスポート合格を目指します。講義に加え、UDEMYのITパスポート講座を活用し、予習、復習ができる。
・ITパスポートストラテジ、マネジメント分野を学習します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1	企業活動	e-ラーニングによる学習を推奨	
3	業務分析、問題解決手法、意思決定	e-ラーニングによる学習を推奨	
5	企業会計（財務会計）	e-ラーニングによる学習を推奨	
7	企業会計（管理会計）	e-ラーニングによる学習を推奨	
9	知的財産権①	e-ラーニングによる学習を推奨	
11	知的財産権②	e-ラーニングによる学習を推奨	
13	セキュリティ、労働、取引の関連法規	e-ラーニングによる学習を推奨	
15	ガイドライン、技術者倫理、標準化関連	e-ラーニングによる学習を推奨	
17	経営戦略・経営情報分析手法	e-ラーニングによる学習を推奨	
19	マーケティング	e-ラーニングによる学習を推奨	
21	ビジネス戦略、技術開発戦略	e-ラーニングによる学習を推奨	
23	経営管理システム、ビジネスシステム	e-ラーニングによる学習を推奨	
25	エンジニアリングシステム、ｅ－ビジネス	e-ラーニングによる学習を推奨	
27	情報システム戦略	e-ラーニングによる学習を推奨	
29	業務プロセスの調査・分析	e-ラーニングによる学習を推奨	
31	業務改善	e-ラーニングによる学習を推奨	
33	ソリューションビジネス	e-ラーニングによる学習を推奨	
35	ＳＬＣＰ共通フレーム２００７	e-ラーニングによる学習を推奨	
37	企画プロセス	e-ラーニングによる学習を推奨	
39	要件定義プロセス	e-ラーニングによる学習を推奨	
41	ＰＭＢＯＫとプロジェクトマネジメント	e-ラーニングによる学習を推奨	
43	プロジェクトタイムマネジメント	e-ラーニングによる学習を推奨	
45	サービスマネジメント	e-ラーニングによる学習を推奨	
47	サービスサポート	e-ラーニングによる学習を推奨	
49	サービスデリバリ	e-ラーニングによる学習を推奨	
51	ファシリティマネジメント	e-ラーニングによる学習を推奨	
53	監査業務	e-ラーニングによる学習を推奨	
55	内部統制	e-ラーニングによる学習を推奨	
60	期末テスト	e-ラーニングによる学習を推奨	

成績評価方法

1 期末テストによって成績評価を行う。
2 ＩＴパスポートの合格、合格済みも成績に加味する
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	○				100	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品							なし	不可、E（0）：５９点未満
演習							なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数

担当教員	赤木　康二	実務経験紹介	

科目名	ビジネス会計Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有り
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【全国経理教育協会　簿記能力検定３級以上】【全国経理教育協会　電卓計算能力検定２級以上】 ビジネスに欠かせない電卓、簿記のスキルを客観的に測定することが可能です。 将来、企業で経理事務を担当しようとしている人には必須の検定試験です。 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかり出席して身に付けましょう。				
授業の一般目標	電卓の正しい打ち方をマスターできる、小規模株式会社の財務諸表が読むことができるようになる（簿記の一連の流れが把握できるようになる）				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	貸借対照表、損益計算書が作成できる
☑ 思考・判断の観点	勘定科目が理解でき、仕訳ができるようになる
☑ 関心・意欲の観点	簿記の一連の流れが理解できるようになり、お金の流れなど関心を持つようになり経済意識を高めることができる。
☑ 態度の観点	日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる
☑ 技能・表現の観点	正しい電卓の打ち方が習得できる

授業計画（全体）

座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。
【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定3級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。
※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	【電卓】電卓キーの種類と使い方		
3～4	指の分担練習、逆数計算、定数計算、見取算		
5～6	乗算、除算		
7～8	複合算、伝票算		
9～10	電卓計算能力検定検定対策		
11～12	【簿記】簿記とは、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳		
13～14	試算表		
15～16	現金と預金、当座預金、三文法、掛け取引、有価証券		
17～18	費用と収益、約束手形、その他の債権債務、株式		
14～15	決算の手続き、精算表、財務諸表		
19～20	試算表、精算表、財務諸表		
21～22	検定対策１問対応		
23～24	検定対策２、４問対応		
25～26	検定対策３問対応		
27～28	検定対策５問対応		
29～30	検定対策		

成績評価方法

1　授業の中で小テストを行う（電卓、簿記）
2　期末テストを行う（電卓、簿記）
3　検定試験に合格できる（電卓、簿記）
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
検定試験合格（電卓）	◎						30	秀、S（４）：９０点以上
検定試験合格（簿記）	◎						30	
小テスト	◎	○					10	優、A（３）：８０点以上
定期試験	◎	○					30	良、B（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	澤谷　久美	実務経験紹介	

科目名	ビジネス会計Ⅱ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有り
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【全国経理教育協会　簿記能力検定２級以上】【全国経理教育協会　電卓計算能力検定２級以上】 ビジネスに欠かせない電卓、簿記のスキルを客観的に測定することが可能です。 将来、企業で経理事務を担当しようとしている人には必須の検定試験です。 資格を取得すれば就職の際には心強いスキルとなります。しっかり出席して身に付けましょう。				
授業の一般目標	中規模株式会社の収益費用勘定、決算整理ができ，これによる損益計算書と貸借対照表を作成できる（一般企業の経理担当業務ができる）				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	貸借対照表、損益計算書が作成できる
☑ 思考・判断の観点	仕訳や伝票処理ができるようになる
☑ 関心・意欲の観点	株式会社の経理・財務担当者として，複式簿記の仕組みを理解できるようになり企業会計など関心がもてる
☑ 態度の観点	日常生活の中で、財務諸表をもとに主体的に考えることができる
☑ 技能・表現の観点	経理用語が理解できるようになる

授業計画（全体）

座学を中心に授業をします。電卓、簿記の検定試験取得にむけて何度も繰り返し指導していきます。
【全国経理教育協会】電卓計算能力検定2級以上、簿記能力検定2級以上に合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。
※個々の能力に応じ、受験級もしくは日商簿記受験対策など個別に指導します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	商品売買（３級の復習）		
3～4	当座預金とその他の預金、手形の処理		
5～6	手形などの処理		
7～8	有価証券		
9～10	固定資産		
11～12	引当金、株式の発行		
13～14	決算の手続き、精算表、財務諸表		
15～16	本支店会計、帳簿、伝票		
17～18	検定対策１問対応		
14～15	検定対策２、４問対応		
19～20	検定対策３問対応		
21～22	検定対策５問対応		
23～24	検定対策（電卓、簿記）		
25～26	検定対策（電卓、簿記）		
27～28	検定対策（電卓、簿記）		
29～30	検定対策（電卓、簿記）		

成績評価方法

1　授業の中で小テストを行う（電卓、簿記）
2　期末テストを行う（電卓、簿記）
3　検定試験に合格できる（電卓、簿記）
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
検定試験合格（電卓）	◎						30	秀、Ｓ（４）：９０点以上
検定試験合格（簿記）	◎						30	
小テスト	◎	○					10	優、Ａ（３）：８０点以上
定期試験	◎	○					30	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	澤谷　久美	実務経験紹介	

科目名	CG概論	単位数	4	科目コード	
授業形態	講義	時間数	60	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定【CG-ARTS　Webデザイナー検定ベーシック】 ＷＥＢデザインの基礎を体系的に学習することが可能です。				
授業の一般目標	ＷＥＢデザイン＆作成を行うために必要な基礎知識を習得				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	入門ＷＥＢデザイン				

授業の到達目標	
☑ 知識・理解の観点	ＷＥＢデザインに関する用語や基礎知識などを理解できている。
☑ 思考・判断の観点	作成したいＷＥＢデザインを思った通りに実現できる。
☑ 関心・意欲の観点	他者の良いところを取り込もうとする姿勢がある。
☑ 態度の観点	好奇心旺盛でチャレンジしようとする姿勢がみられる。
☑ 技能・表現の観点	ソフトを使って、ＷＥＢデザインを作成することができる。

授業計画（全体）

座学を中心に授業をします。
PCを使用して実際にＷＥＢデザインを行います。
【CG-ARTS】ＣＧデザイナー検定ベーシックに合格できるように、試験の傾向と対策踏まえ学習していきます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1	WEBデザインを学ぶ前に		
3	さまざまなWEBサービス		
5	WEBサイトの制作フロー		
7	コンセプトメイキング、情報の収集・分類・組織化		
9	情報の構造化、さまざまな閲覧機器		
11	文字、色		
13	画像、インフォグラフィックス		
15	ナビゲーション、レイアウト		
17	インタラクション、HTMLとCSSの学習準備		
19	HTMLの基礎①		
21	HTMLの基礎②		
23	CSSの基礎①		
25	CSSの基礎②		
27	CSSの基礎③		
29	WEBサイトの公開と運用		
31	セキュリティとリテラシ		
33	WEBサンプルページの制作③		
35	知的財産権		
37	WEBデザイナー検定対策		
39	WEBデザイナー検定対策		
41	WEBデザイナー検定対策		
43	WEBデザイナー検定対策		
45	WEBデザイナー検定対策		
47	WEBデザイナー検定対策		
49	WEB制作課題		
51	WEB制作課題		
53	WEB制作課題		
55	WEB制作課題		
60	WEB制作課題		

成績評価方法

1　期末テストを行う
2　検定試験に合格できる（Webデザイナー検定ベーシック）
3　作品課題で評価する

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
小テスト							評価なし	秀、Ｓ（４）：９０点以上
定期試験	◎	○					50	優、Ａ（３）：８０点以上
授業態度							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
発表・作品			○		◎		50	可、Ｃ（１）：６０点以上
演習							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
出席							欠格条件	未修得、履修放棄、Ｆ
								（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	辻村忠幸	実務経験紹介	

科目名	デジタルコンテンツⅠ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	広告物のチラシ・フライヤー作成、リーフレットの作成における顧客に対するプロモーション視点での制作に必要性を理解し、キャッチコピー、訴求する方法を検討していく。				
授業の一般目標	広告チラシ・フライヤーの制作に必要な視点を学習する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　フライヤのデザインによる告知効果の理解

☑ 思考・判断の観点　目に留まるフライヤーについて工夫ができる

☑ 関心・意欲の観点　様々なチラシからリバースエンジニアしてみる

☐ 態度の観点

☑ 技能・表現の観点　工夫を凝らしたフライヤーが作成できる。

授業計画（全体）

フライヤ制作にかかわる必要な基礎知識を学習して、基本的なフライヤー制作ができるように、様々なフライヤを模倣しながら、オリジナルなフライヤー制作が出来るようになる。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1	チラシ・フライヤについての導入		
3	チラシ・フライヤのレイアウト分析		
5	構図とレイアウト		
7	配色とレイアウト		
9	チラシのデザイン、１枚のデザイン構図とレイアウト		
11	課題１　チラシ作成		
13	課題１　チラシ作成		
15	フライヤのターゲット設定		
17	フライヤのレイアウト作成		
19	フライヤ制作		
21	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
23	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
25	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
27	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
29	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作		
31	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作		
33	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作		
35	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作		
37	売上向上につながるチラシづくり		
39	売上向上につながるチラシづくり		
41	売上向上につながるチラシづくり		
43	売上向上につながるチラシづくり		
45	最終評価自由課題		
47	最終評価自由課題		
49	最終評価自由課題		
51	最終評価自由課題		
53	最終評価自由課題		
55	最終評価自由課題		
60	最終評価自由課題発表会		

成績評価方法

1　基礎知識の試験

2 フライヤーづくりの課題

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
小テスト							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
定期試験	◎	○					50	優、A（3）：８０点以上
授業態度							評価なし	良、B（2）：７０点以上
発表・作品		○			◎		50	可、C（1）：６０点以上
演習							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
出席							欠格条件	未修得、履修放棄、F
								（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	久保俊介	実務経験紹介	

科目名	ビジネスマナーⅢ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人として仕事をしていくうえで必要なビジネス常識及び対人関係におけるマナーを身につけ、ビジネス実務マナー検定3級の取得を目指しましょう				
授業の一般目標	「ビジネス実務マナー検定3級」合格程度の知識、技能の習得				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	テキスト「ビジネス実務マナー検定受験ガイド3級」				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	組織の機能と役割について理解している
☑ 思考・判断の観点	相手との人間関係を判断し、適切な話し方を考えることができる
☑ 関心・意欲の観点	慶事、弔事に関する作法と服装について関心を持つようになる
☑ 態度の観点	良識を持ち、素直な態度を取ることができる
☑ 技能・表現の観点	基礎的な敬語を使用して会話ができる

授業計画（全体）

「ビジネス実務マナー検定3級」テキストを反復学習し、確実な知識の習得をします。
実習形式の授業進行も取り入れ、実践的なスキルを身につけます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
１～４	ビジネスに必要な良識と自己管理		
５～８	業務を確実に実行するための能力		
９～１２	組織の機能と役割を理解する		
１３～１６	良好な人間関係を築く態度と話し方		
１７～２０	あいさつと名刺交換マナー		
２１～２４	電話応対の基本		
２５～２８	来客応対のマナー		
２９～３２	報告・連絡・相談の仕方		
３３～３６	正しい敬語と感じの良い言葉づかい		
３７～４０	慶事・弔事の作法と服装		
４１～４４	交際業務		
４５～４８	情報の伝達と整理		
４９～５２	会議の運営		
５３～５６	事務機器、事務用品の基本機能		
５７～６０	文書の受発信、郵便の知識		

成績評価方法

1　期末テスト（筆記）にて評価を行う
2
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	○	○		100	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	https://urbanemi.com/

科目名	Ｗｅｂデザイン２	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	CMSとしてWordPressの使い方を理解し、ノーコードでのWebサイトの制作を行うことが出来る。				
授業の一般目標	WordPressを使ってCMSの基本を理解し、Webサイトの構築を行うことが出来る。				
受講条件	HTMLとCSSを理解している				
事前学習について（テキスト・参考書等）	ＵＤＥＭＹのWordPressの研修動画				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　WordPressの基本操作とWebサイト設定ができる。

☑ 思考・判断の観点　ノーコードで、Webサイトを作成できる

☐ 関心・意欲の観点

☐ 態度の観点

☑ 技能・表現の観点　各種プラグインを使い、Webサイトとして機能するWebを作成できる。

授業計画（全体）

・CMSのWordpressとしての基本的考え方を学習します。
・Lightningのテーマを使って、サイト作りの基礎をマスターします。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	WordPressの環境設定		
5～8	WordPressの基本サイトの考え方		
9～12	テーマの設定と固定ページ、投稿ページの作成		
13～16	メディアの追加とＴＯＰページの編集		
17～20	サイト制作、メニューの作成		
21～24	デザインの作成、レイアウト設定		
25～28	スライドショーの設定		
29～32	各ページを作成		
33～36	各ページを作成		
37～40	各ページを作成		
41～44	WordPressの使ったＷｅｂサイトを制作		
45～48	WordPressの使ったＷｅｂサイトを制作		
59～52	WordPressの使ったＷｅｂサイトを制作		
53～56	WordPressの使ったＷｅｂサイトを制作		
57～60	WordPressの使ったＷｅｂサイトを制作		

成績評価方法

1 課題提出にて評価を行う

2

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、Ｓ（４）：９０点以上
課題	○	○	○				70	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	○						30	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰ点数

担当教員	赤木康二	実務経験紹介	

科目名	デザイン総合演習Ⅰ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	２年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。 山口県中小企業家同友会との連携授業において、経営者とのコミュニケーション、プレゼンテーションを行います。				
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業／団体の状況について正しく理解できたか
☑ 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか
☑ 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか
☑ 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか
☑ 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業／団体の課題を解決できたか

授業計画（全体）

・山口県中小企業家同友会の会員企業と連携し、経営者の課題に向き合い課題解決提案と制作と納品を行います。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	オリエンテーション・事前学習		
3～4	企業紹介・協業企業の選定・着想①		
5～6	各企業との個別相談会①・着想②		
7～8	着想③		
9～10	企業訪問・着想③		
11～12	発案①		
13～14	各企業との個別相談会・発案②		
15～16	発案③		
17～18	各企業との個別相談会②・プロトタイピング・テスト①		
19～20	プロトタイピング・テスト②		
21～22	各企業との個別相談会③・プロトタイピング・テスト④		
23～24	プロトタイピング・テスト⑤		
25～26	各企業との個別相談会④・プロトタイピング・テスト⑦		
27～29	プロトタイピング・テスト⑧		
30～33	前期末最終成果発表		
34～37	オリエンテーション・PBL①事前学習		
38～42	PBL①着想		
43～46	PBL②着想		
47～49	PBL③発案		
50～55	PBL④プロトタイピング・テスト		
55～60	後期末最終成果発表		

1 授業内で下記観点から評価を行う。

2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎					10	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度			◎	◎	○		50	可、C（1）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	◎	◎	○		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数

担当教員	吉田　昌乗	実務経験紹介	https://www.tansan.co/

科目名	デザイン総合演習Ⅱ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。 山口県中小企業家同友会との連携授業において、経営者とのコミュニケーション、プレゼンテーションを行います。				
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業／団体の状況について正しく理解できたか
☑ 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか
☑ 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか
☑ 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか
☑ 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業／団体の課題を解決できたか

授業計画（全体）

・山口県中小企業家同友会の会員企業と連携し、経営者の課題に向き合い課題解決提案と制作と納品を行います。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	オリエンテーション・事前学習		
3～4	企業紹介・協業企業の選定・着想①		
5～6	各企業との個別相談会①・着想②		
7～8	着想③		
9～10	企業訪問・着想③		
11～12	発案①		
13～14	各企業との個別相談会・発案②		
15～16	発案③		
17～18	各企業との個別相談会②・プロトタイピング・テスト①		
19～20	プロトタイピング・テスト②		
21～22	各企業との個別相談会③・プロトタイピング・テスト④		
23～24	プロトタイピング・テスト⑤		
25～26	各企業との個別相談会④・プロトタイピング・テスト⑦		
27～29	プロトタイピング・テスト⑧		
30～33	前期末最終成果発表		
34～37	オリエンテーション・PBL①事前学習		
38～42	PBL①着想		
43～46	PBL②着想		
47～49	PBL③発案		
50～55	PBL④プロトタイピング・テスト		
55～60	後期末最終成果発表		

1 授業内で下記観点から評価を行う。

2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	◎					10	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	◎	○		50	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○	◎	◎	○		40	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数

担当教員	吉田　昌乗	実務経験紹介	https://www.tansan.co/

科目名	デジタル映像	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	２年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動画編集ソフト Adobe Premire Proの使い方を学び、YOUTUBE動画などの動画制作ノウハウを学習し、動画制作ができる。				
授業の一般目標	Adobe Premiere Proを使うことができる。動画のシナリオを作る事ができる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	UDEMYの Premiere PROに関する動画教材				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	AdobeのPremiere PROの基本操作を習得している。
☑ 思考・判断の観点	動画のシナリオ作成と必要なテロップとなる言葉を抽出できる
☑ 関心・意欲の観点	動画制作にあたり、必要となる動画コンテンツを取得することができる。
☐ 態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	動画が視聴者視点で作成されいる。

授業計画（全体）

・UDEMYの動画を教材として使用し、PreierePROの操作や動画制作のポイントを学習する。
・各種イベントの告知動画を制作を行う。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	オリエンテーション・Premiere　PROの基本操作		
5～8	PremierePROの基本操作＋簡易動画作成		
9～12	インサート動画について、インサート動画作成		
13～16	インサート動画について、インサート動画作成		
17～20	テロップ作成、BGMの等の音源編集		
21～24	テロップ作成、BGMの等の音源編集		
25～28	シナリオ作成について、トレーニング動画シナリオ作成		
29～32	シナリオ作成について、トレーニング動画シナリオ作成		
33～36	トレーニング動画撮影、音声の取り込み		
37～40	トレーニング動画撮影、音声の取り込み		
41～44	トレーニング動画編集、YOUTUBEへの限定公開		
45～48	イベント告知動画作成		
49～52	イベント告知動画作成		
53～56	イベント告知動画作成		
57～60	イベント告知動画作成		
61～64	イベント告知動画作成		
65～68	イベント告知動画作成		
69～72	イベント告知動画作成		
73～76	イベント告知動画作成		
77～80	イベント告知動画作成		
81～84	イベント告知動画作成		
85～88	イベント告知動画作成		
89～90	イベント告知動画作成		

1 授業内で下記観点から評価を行う。
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品		○			○		40	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	◎	◎	○		60	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	赤木　康二	実務経験紹介	

科目名	ビジネス実践Ⅱ	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	２年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	インターネット上の「企画・宣伝・ＰＲ・集客・販売・調達」全般について理解や知識を基礎知識を学習し、習得する				
授業の一般目標	(1)インターネット上の「企画・宣伝・ＰＲ・集客・販売・調達」全般の知識を理解できる (2)お客様、取り扱い企業とのコミュニケーションの理解と実践ができる (3)ネットマーケティングの運営ができる				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	ネットマーケティング検定公式テキスト（インプレス）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点
1．ネットマーケティングの運営について説明できる。
2．ネットマーケティングの各領域の概要と課題を説明できる。

☑ 思考・判断の観点
1．授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。

☑ 関心・意欲の観点
1．ネットマーケティングに関する関心を広げ，問題意識を高めることができる。

☑ 態度の観点
1．日常生活の中でネットマーケティングについて主体的に考えることができる。

☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

ネットマーケティング検定公式テキストを使い、理解を深めた後、学生ネットショップにて実践する。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	インターネットマーケティングを行うにあたって		
5～8	インターネット技術概論		
9～12	総論 ～インターネットマーケティングの個別手法～		
13～16	インターネットリサーチ		
17～20	プロモーション（PR/ブランディング）		
21～24	インターネット広告		
25～28	インターネットを利用した販売		
29～32	効果測定		
33～36	効果測定		
37～40	外注管理		
41～44	外注管理		
45～48	各種ポリシー		
49～52	各種ポリシー		
53～56	関連法規		
57～60	関連法規		
61～64	インターネットとコンプライアンス、CSR		
65～68	インターネットとコンプライアンス、CSR		
69～72	ネットショップ運営		
73～76	ネットショップ運営		
77～80	ネットショップ運営		
81～84	ネットショップ運営		
85～88	総括		
89～90	総括		

成績評価方法

(1)授業の中で小テスト、授業内レポートを数回行う。
(2)成果発表会にて、取り組んだ内容について、プレゼンし、審査を受ける
(3)以上を下記の観点・割合で評価する。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					10	秀、S（４）：９０点以上
小テスト	◎	○	◎				20	優、A（３）：８０点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	良、B（２）：７０点以上
授業態度			○				10	可、C（１）：６０点以上
発表・作品	◎		◎	◎			50	不可、E（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F

出席			○				欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員	河津　道正			実務経験紹介				

科目名	ビジネススキル	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	授業で習得した卒業制作作品を作成し最終発表に向けて効果的プレゼンを駆使する。 プレゼンテーション能力の向上、および効率的なプレゼン技法の活用し、聴衆に説得力のあるプレゼンを実施できる。 ワークを円滑に進めていくために、コミュニケーションを磨いていく。				
授業の一般目標	プレゼンツールを使って効率的にプレゼンできる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	UDEMYを活用したプレゼンテーション技法				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	PowerPointを使うことができる。
☑ 思考・判断の観点	プレゼンを論理的に組み立てることができる
☑ 関心・意欲の観点	積極的に課題解決の糸口となる案を出していく
☑ 態度の観点	プレゼン技法を要所にとりいれて、印象の良いプレゼンができる。
☑ 技能・表現の観点	

授業計画（全体）

グループ作業での卒業制作作品を制作するために効率的にプロジェクトの推進をしていくためのコミュニケーション力をみにつける。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	卒業制作作品制作		
5～8	卒業制作作品制作		
9～12	卒業制作作品制作		
13～16	卒業制作作品制作		
17～20	卒業制作作品制作		
21～24	卒業制作作品制作		
25～28	卒業制作作品制作		
29～32	卒業制作作品制作		
33～36	卒業制作作品制作		
37～40	卒業制作作品制作		
41～44	卒業制作作品制作		
45～48	卒業制作作品制作		
49～52	卒業制作作品制作		
53～56	卒業制作作品制作		
57～60	卒業制作作品制作		
61～64	卒業制作作品制作		
65～68	卒業制作作品制作		
69～72	卒業制作作品制作		
73～76	卒業制作作品制作		
77～80	卒業制作作品制作		
81～84	卒業制作作品制作		
85～88	卒業制作作品制作		
89～90	卒業制作作品制作		

成績評価方法

1 発表用プレゼン資料の提出

2 作品制作物の評価を行う。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度			○	◎			60	可、C（1）：６０点以上
発表・作品		◎	○	◎	○		40	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数

担当教員	赤木　康二	実務経験紹介	

科目名	データベース	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	２年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、データベースの仕組みについて説明が出来、データベースソフトACCESSを使ってデータベースを作成、抽出の操作ができるようになる。 目標とする資格はACCESSビジネスデータベース技能認定試験2級の合格。				
授業の一般目標	(1)ACCEESSの基本操作を習得ができる。 (2)マクロを使ったデータベースシステムを構築できる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	問題集：Access®ビジネスデータベース技能認定試験　問題集（2021対応）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点
１．データベースの仕組みについて説明できる。
２．ACCESSを使ったデータベースを構築できる。

☑ 思考・判断の観点
１．指定されたデータ抽出のための条件指定を思考できる。

☑ 関心・意欲の観点
１．データベース構築のためのＧＵＩインタフェースについて最適化できる。

□態度の観点

☑ 技能・表現の観点
１．データベースをシステムをとして構築するためのマクロを使いこなせる。

授業計画（全体）

データベースの構造について学習し、ACCESSでのデータベース作成、テーブル、クエリー、フォーム、レポートの作成を行う。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	データベースの仕組み		
3～4	ACCEESSの基本操作		
5～6	テーブル作成		
7～8	クエリー作成		
9～10	フォーム作成		
11～12	レポート作成		
13～14	リレーションシップ		
15～16	マクロ作成		
17～18	データベース設計		
19～20	テーブル作成		
21～22	マスター入力画面の作成		
23～24	宛名ラベルの作成		
25～26	会員電話番号		
27～28	受注データ入力処理の作成		
29～30	会員別注文伝票の作成		
31～32	各種集計リストの作成		
33～34	過去データの処理		
35～36	処理の自動化		
37～38	2級過去問題演習		
39～40	2級過去問題演習		
41～42	2級過去問題演習		
43～44	2級過去問題演習		
45～46	2級過去問題演習		
47～48	2級過去問題演習		
49～50	2級過去問題演習		
51～52	2級過去問題演習		
53～54	2級過去問題演習		
55～56	2級過去問題演習		
57～58	2級過去問題演習		
59～60	2級過去問題演習		

成績評価方法

(1)ACCESS3級・2級の検定試験の合否で評価を行う

(2)ACCESS3級・2級の過去問実施履歴で評価を行う

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準

定期試験	◎	○			◎		50	秀、S（4）：９０点以上
小テスト		○	○		◎		30	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度			○	○			20	可、C（1）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員	山嵜　美智子			実務経験紹介				

科目名	マーケティング演習	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	インターネットでの、サービスや物販において、販売促進のための、分析と調査のマーケティング手法について習得する。 サーティファイ主催　ネットマーケティング検定　合格				
授業の一般目標					
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	ネットマーケティング検定 公式テキスト発行：インプレスインターネットマーケティング 基礎編 ネットマーケティング検定 過去問題集発行：ウイネット				
授業の到達目標					
☑ 知識・理解の観点	ネットマーケティング検定の合格し、ネットマーケティングに関する用語について説明できる。				
☑ 思考・判断の観点	提供頂いている事案の情報を整理し、マーケティング手法を提案できる				
☑ 関心・意欲の観点	積極的に、自から調査、分析を行う。				
☐ 態度の観点					
☐ 技能・表現の観点					
授業計画（全体）					
インターネットで行われるネットマーケティングの仕組みを理解し、ディスカッションを交えながらマーケティングの学習をすすめていき、株式会社ジブンノオトと連携先の事案をもとに学生にマーケティングについて検討してもらう。					

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	第1章 インターネットマーケティングを行なうにあたって 序論 インターネットマーケティングの特徴		
5～8	1-1 インターネットマーケティングにおける基礎理論		
9～12	第1章 インターネットマーケティングを行なうにあたって 1-2端末別理論 1-3グローバル・インターネットマーケティング		
13～16	1-4サイト理論（1）サイトの種類 1-5サイト理論（2）サイトの構造		
17～20	第2章 インターネット技術概論 2-1インターネット技術知識の必要性 2-2インターネットの構造		
21～24	第2章 インターネット技術概論 2-3検索エンジンの構造		
25～28	2-4プログラミング 2-5情報セキュリティ対策		
29～32	第3章 総論～インターネットマーケティングの個別手法 3-1インターネットマーケティングの全体的な流れ 3-2インターネットマーケティングを進める上でのポイント第4章 インターネットリサーチ		
33～36	4-1インターネットリサーチとは 4-2オフラインリサーチとは		
37～40	第5章 プロモーション（PR/ブランディング） 5-1検索エンジン対策など		
41～44	第5章 プロモーション（PR/ブランディング） 5-2イメージ戦略		
45～48	5-3サイトにおけるユーザビリティとデザイン理論 5-4インターネットとマスメディア		
49～52	第6章 インターネット広告 6-1インターネット広告 概論		
53～56	6-2インターネット広告の種類と特徴 6-3各種技術の発達に伴う特殊な広告手法		
57～60	第7章 インターネットを利用した販売 7-1インターネット販売における基礎理論 7-2インターネット販売の手法		
61～64	第8章 効果測定 8-1アクセスログ解析の基本 8-2効果測定に用いる各種指標について		
65～68	第9章 外注管理 9-1各業種の特徴や注意するポイント 9-2外注企業の管理方法第10章 各種ポリシー 10-1ソーシャルメディアポリシーについて		
69～72	第9章 外注管理 9-1各業種の特徴や注意するポイント 9-2外注企業の管理方法第10章 各種ポリシー 10-1ソーシャルメディアポリシーについて		

73～76	10-2プライバシーポリシーについて 10-3情報セキュリティポリシーについて		
77～80	第11章 関連法規 11-1知的財産 11-2不正アクセス禁止法 11-3個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）		
81～84	11-4不正競争防止法 11-5景品表示法（不当景品類及び不当表示防止法） 11-6ウイルス作成罪（不正指令電磁的記録作成等、刑法第19章の		
85～88	全体の復習（過去問題演習）		
89～90	全体の復習（過去問題演習）		

成績評価方法

1 提出物として、ドキュメント一式と制作物が所定日までに提出されている

2 作品が動作することを確認できる。または、デザインについては作品集として提供されている。

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート	○						20	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品		○					30	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	○		○		50	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数
担当教員	大野　圭司			実務経験紹介	https://jibunnote.co.jp/			

科目名	Webプラグラミング	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	本授業では、Webページにおけるドロップダウンメニューや、スライドショーのアニメーション作成に用いられているJavaScript文法について学習する。 また、ノーコードによるシステム開発をKintone を使って行い。事務業務事案をもとに改善の提案を行う。				
授業の一般目標	JavaScriptを記述して、Web上でのアニメーションを作成できる。 ノーコード開発ツールとしてkintoneを活用できる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	udemy JavaScript講座 Kintone				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	JavaScriptの文法について説明ができる。
☑ 思考・判断の観点	各種機能を実装するための、ライブラリを活用する。
☑ 関心・意欲の観点	Kintone を使ってシステムの提案と開発が出来る。
☐ 態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	JavaScriptにより機能拡張ができる。

授業計画（全体）

・Javascriptの文法学習をします。
・kintoneの操作を習得、業務アプリを開発します。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	コンソール記述		
3～4	HTML内への記述、JSファイルの読み込み		
5～6	HTMLファイルへの出力		
7～8	条件分岐処理構文（else if）		
9～10	繰り返し処理構文(for while)		
11～12	配列の作成、HTMLへの追加		
13～14	データ登録、データをHTMLとして出力		
15～16	フォームの入力内容を取得する		
17～18	年月日と時間表示		
19～20	0表示、小数点四則演算		
21～22	カウントダウンタイマー		
23～24	カウントダウンタイマー応用		
25～26	プルダウンメニューで指示ページへ遷移		
27～28	アンケート記入ページ		
29～30	サムネイル画像クリックによる切り替え		
31～32	スライドショーアニメーション		
33～34	スライドショーアニメーション		
35～36	kintoneの操作基本		
37～38	kintoneの操作基本		
39～40	kintoneの操作基本		
41～42	kintoneの操作基本		
43～44	kintoneの操作基本		
45～46	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
47～48	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
49～50	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
51～52	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
53～54	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
55～56	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
57～58	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		
59～60	kintoneを使ってシステム簡易システム開発		

成績評価方法

1 授業内で課題作成を行う。
2 システム開発の課題提出

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度		○	○				20	可、C（1）：６０点以上
発表・作品	◎	○			◎		30	不可、E（0）：５９点未満
演習	○						50	未修得、履修放棄、F

出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数
担当教員		赤木　康二		実務経験紹介				

科目名	文書作成・表計算処理	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Excel・Wordを利用した文書の作成ができる能力を養う。 仕事をするうえで必要とされる情報処理活用能力のうち、Ｅｘｃｅｌを利用した関数やグラフの作成ができる能力を養う。				
授業の一般目標	１．マニュアルを見なくてもデータの入力、作成ができる。 ２．Ｅｘｃｅｌの機能のうち、計算式や関数及びグラフを利用した表計算シートの作成ができる。 ３．サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験２級、Word文書処理技能認定試験２級合格 ４．サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験１級合格、Word文書処理技能認定試験１級合格				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	Excel表計算技能認定試験　１・２級問題集（サーティファイ） Word文書処理技能認定試験　１・２級問題集（サーティファイ）				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	ピボットテーブルや関数を応用した表計算シート、スタイルの定義などを活用した文書を作成することができる
☐ 態度の観点	
☐ 技能・表現の観点	
☑ 態度の観点	演習において主体的に不明点を質問・解決しながら課題・問題集に取り組む
☑ 技能・表現の観点	Excel・Wordの機能を応用し、関数や複雑なグラフを利用した表計算シート、複数ページの文書が作成できる

授業計画（全体）

サーティファイ主催Excel表計算技能認定試験１級合格、Word文書処理技能認定試験１級合格を目指します。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	コンピュータを使用する際の基礎知識		
5～8	文字入力、フォントの編集機能		
9～12	文字入力、フォントなど編集機能		
13～16	グラフ		
17～20	データベース機能		
21～24	問題集の課題を各自練習		
25～28	問題集の課題を各自練習		
29～32	問題集の課題を各自練習		
33～36	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
37～40	問題集の課題を各自練習		
41～44	問題集の課題を各自練習		
45～48	問題集の課題を各自練習		
49～52	問題集の課題を各自練習		
53～56	問題集の課題を各自練習		
57～60	ＵＳＢを使用し時間計測・採点返却		
61～64	問題集の課題を各自練習		
65～68	サーティファイ表計算技能認定試験　３級		
69～72	文字列関数		
73～76	条件付き関数		
77～80	データベース関数		
81～84	問題集の課題を各自練習		
85～88	問題集の課題を各自練習		
89～90	問題集の課題を各自練習		

成績評価方法

1　小テスト、定期試験（検定試験）、出席率

2

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	山嵜　美智子	実務経験紹介	

科目名	デジタルコンテンツⅡ	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	２年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	広告物のチラシ・フライヤー作成、リーフレットの作成における顧客に対するプロモーション視点での制作に必要性を理解し、キャッチコピー、訴求する方法を検討していく。				
授業の一般目標	広告チラシ・フライヤーの制作に必要な視点を学習する。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　フライヤのデザインによる告知効果の理解

☑ 思考・判断の観点　目に留まるフライヤーについて

☑ 関心・意欲の観点　様々なチラシからリバースエンジニアしてみる

☐ 態度の観点

☑ 技能・表現の観点　工夫を凝らしたフライヤーが作成できる。

授業計画（全体）

フライヤ制作にかかわる必要な基礎知識を学習して、基本的なフライヤー制作ができるように、様々なフライヤを模倣しながら、オリジナルなフライヤー制作が出来るようになる。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	チラシ・フライヤについての導入		
5～8	チラシ・フライヤのレイアウト分析		
9～12	構図とレイアウト		
13～16	配色とレイアウト		
17～20	チラシのデザイン、１枚のデザイン構図とレイアウト		
21～24	課題１　チラシ作成		
25～28	課題１　チラシ作成		
29～32	フライヤのターゲット設定		
33～36	フライヤのレイアウト作成		
37～40	フライヤ制作		
41～44	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
45～48	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
49～52	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
53～56	ターゲット設定をして、フライヤーを作成する。		
57～60	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作成		
61～64	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作成		
65～68	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作成		
69～72	イベント参加者のターゲット設定をしてイベントフライヤーの作成		
73～76	売上向上につながるチラシづくり		
77～80	売上向上につながるチラシづくり		
81～84	売上向上につながるチラシづくり		
85～88	売上向上につながるチラシづくり		
89～90	売上向上につながるチラシづくり		

成績評価方法

1　基礎知識の試験

2 フライヤーづくりの課題

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
小テスト							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
定期試験							評価なし	優、A（3）：８０点以上
授業態度	◎	○					50	良、B（2）：７０点以上
発表・作品	◎	○					50	可、C（1）：６０点以上
演習							評価なし	不可、E（0）：５９点未満
出席							欠格条件	未修得、履修放棄、F
								（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	久保俊介	実務経験紹介	

科目名	企画編集Ⅰ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	パッケージのデザインや各種リーフレットの企画を自らおこして、コンテンツの制作と編集ができる。 各種コンテンストに応募するための作品制作を行う。				
授業の一般目標	デザインソフトを使って、あらゆるメディアに合わせたコンテンツの制作ができる				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　デザイン手法、フォントについて知識を有している。

☑ 思考・判断の観点　デザイン思考により顧客視点で、個々のメディアに合わせたコンテンツ制作ができる

☑ 関心・意欲の観点　自ら積極的に制作に取りくみ、コンテンツのブラッシュアップができる

☐ 態度の観点

☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

・デザイン制作ソフトを使ってコンペティションに出品する作品を作成する。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	ピクトグラム制作		
3～4	ピクトグラム制作		
5～6	Lineスタンプ用のイラスト作成		
7～8	Lineスタンプ用のイラスト作成		
9～10	Lineスタンプ用のイラスト作成		
11～12	各種折りのリーフレット作成		
13～14	各種折りのリーフレット作成		
15～16	各種折りのリーフレット作成		
17～18	各種折りのリーフレット作成		
19～20	各種折りのリーフレット作成		
21～22	各種折りのリーフレット作成		
23～24	パッケージデザイン		
25～26	パッケージデザイン		
27～29	パッケージデザイン		
30～33	パッケージデザイン		
38～42	パッケージデザインコンテスト応募作品制作		
43～46	パッケージデザインコンテスト応募作品制作		
47～49	パッケージデザインコンテスト応募作品制作		
50～55	パッケージデザインコンテスト応募作品制作		
55～60	パッケージデザインコンテスト応募作品制作		

1 授業内で下記観点から評価を行う。

2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品	○						50	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	◎	◎	○		50	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	久保俊介	実務経験紹介	

科目名	企画編集Ⅱ	単位数	4	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	パッケージのデザインや各種リーフレットの企画を自らおこして、コンテンツの制作と編集スキル活用して、 アイデアを起こして、卒業作品を制作していく。				
授業の一般目標	デザインソフトを使って、あらゆるメディアに合わせたコンテンツの制作ができる				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点　デザイン手法、フォントについて知識を有している。

☑ 思考・判断の観点　デザイン思考により顧客視点で、個々のメディアに合わせたコンテンツ制作ができる

☑ 関心・意欲の観点　自ら積極的に制作に取りくみ、コンテンツのブラッシュアップができる

☐ 態度の観点

☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

・デザインソフトを使って、自主で企画、制作を行っていく。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	イベントポスター制作		
3～4	イベントポスター制作		
5～6	イベントポスター制作		
7～8	イベントポスター制作		
9～10	イベントポスター制作		
11～12	自主企画作品制作		
13～14	自主企画作品制作		
15～16	自主企画作品制作		
17～18	自主企画作品制作		
19～20	自主企画作品制作		
21～22	自主企画作品制作		
23～24	自主企画作品制作		
25～26	自主企画作品制作		
27～29	自主企画作品制作		
30～33	自主企画作品制作		
38～42	自主企画作品制作		
43～46	自主企画作品制作		
47～49	自主企画作品制作		
50～55	自主企画作品制作		
55～60	自主企画作品制作		

1 授業内で下記観点から評価を行う。

2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品			◎	◎	○		50	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	◎	◎	○		50	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数

担当教員	久保俊介	実務経験紹介	

科目名	デジタル映像Ⅱ	単位数	6	科目コード	
授業形態	演習	時間数	90	開設期	２年生後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	無
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動画編集ソフト Adobe Premiere Pro＋AfterEffectでのアニメーション組み合わせた動画作成ができる。				
授業の一般目標	Adobe Premiere Pro、AfterEffectを使うことができる。動画のシナリオを作る事ができる。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	UDEMYの Premiere PRO＋AfterEffectに関する動画教材				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	AdobeのPremiere PROとAfter Effect基本操作を習得している。
☑ 思考・判断の観点	動画のシナリオ作成と必要なテロップとなる言葉を抽出できる
☑ 関心・意欲の観点	動画制作にあたり、必要となる動画コンテンツを作成し準備できる。
☐ 態度の観点	
☑ 技能・表現の観点	動画が視聴者視点で作成されいる。

授業計画（全体）

・AfterEffectのアニメーションとPremiereProを組み合わせた動画作成

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	オリエンテーション・Premiere　PROとafterEffectの活用		
5～8	PremierePROとafterEffect 基本操作復習＋簡易動画作成		
9～12	アニメーションと動画を組み合わせたコンテンツの作成		
13～16	モーショングラフィックスアニメーション作成		
17～20	モーショングラフィックスアニメーション作成		
21～24	モーショングラフィックスアニメーション作成		
25～28	商品紹介アニメーション動画の作成		
29～32	商品紹介アニメーション動画の作成		
33～36	商品紹介アニメーション動画の作成		
37～40	商品紹介アニメーション動画の作成		
41～44	商品紹介アニメーション動画の作成		
45～48	商品紹介アニメーション動画の作成		
49～52	afterEffect使った短編アニメーション作成		
53～56	afterEffect使った短編アニメーション作成		
57～60	afterEffect使った短編アニメーション作成		
61～64	afterEffect使った短編アニメーション作成		
65～68	afterEffect使った短編アニメーション作成		
69～72	afterEffect使った短編アニメーション作成		
73～76	afterEffect使った短編アニメーション作成		
77～80	afterEffect使った短編アニメーション作成		
81～84	afterEffect使った短編アニメーション作成		
85～88	afterEffect使った短編アニメーション作成		
89～90	afterEffect使った短編アニメーション作成		

1 授業内で下記観点から評価を行う。

2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。

3

4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：９０点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：６０点以上
発表・作品		○			○		40	不可、E（0）：５９点未満
演習	○	○	◎	◎	○		60	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	久保　俊介	実務経験紹介	